



～ わくわくドキドキ ひたちなか子ども放送局 ～

8月の放送に向けて、ラジオの収録にチャレンジしています。番組の企画、取材やパーソナリティーなどの役割を、6年生の代表児童が担当しています。KAWASAKI KIDS（カワサキキッズ）基金の川崎様に「わくわくドキドキ楽しんで」と後押しされて、子ども達の発想、子ども達メインで、のびのびと収録に取り組んでいます。

番組名は「ひたちなか子ども放送局」です。

放送はFMはるるん。12時45分から13時までです。津田小学校の放送は3回。8月1日と8日（子ども番組）、8月15日（PTA番組）です。

津田小のどんな姿を伝えるのか楽しみです。



～ 収録の様子 ～



～ インタビュー ～



引き渡し訓練、授業参観のご協力ありがとうございました

暑さ厳しい中、引き渡し訓練や授業参観にご協力をいただきましてありがとうございました。避難訓練では、熱中症が心配される気温だったため、教室での引き渡しとなりました。徒歩や自転車でのお迎えにご協力いただきました。自転車でお越しの方には、通行スペースを確保した駐輪にご配慮いただいたおかげで混雑せずに下校ができました。学校の避難場所は校庭です。また、緊急車両の通用口は、通常時は駐車場入り口、非常時は運動場東門（第二幼稚園向かい側）になります。災害発生時に、落ちついた行動ができるように学級活動や避難訓練に取り組みます。



～ 引き渡し訓練 ～

スクールロイヤー「いじめ防止教室」5・6年生（6/25）

弁護士の方を講師に、「いじめ」について考える授業を行いました。弁護士は人権を守るための仕事であること。人権とは、安心・自信・自由であること。いじめは、人権をうばう行為であること。を、授業の最初に確かめました。

子ども達は「いじめは悪いことだ」と分かっているも「いじめられたらやり返すのは仕方ないから、いじめには許されるいじめがある」という考えをもっている子もいました。「いじめの連鎖を切らなければ、いじめはなくなる。」“いじめる子、いじめをされる子、おもしろがる子、見ている子”がどうすれば、いじめが起らないだろうか。どうすれば、いじめをとめられるだろうか」という問いかけについて、「誰かに言う。親や先生に相談する。怒った気持ちを落ち着かせる。誰かと一緒に意地悪をやめさせる」など、自分で行動することが、いじめをなくすために大切であると考えました。



第1回 あいさつ運動

年間3回、あいさつ運動を実施します。

保護者の皆様にご協力のもと、登校時間帯に3年生から6年生が学級ごとに正門であいさつをしています。「二中学区地域の輪をつくる会」の三つの誓いの「お互いに『あいさつ』をかわしましょう」を津田小スタイルで取り組みます。



サツマイモ苗植え(1、3年生)

1年生の生活科“植物となかよし”や、3年生の総合的な学習の時間“ひたちなか市のいいところ発見”の学習から、学校近くの畑をお借りして、サツマイモを育てる体験学習に取り組んでいます。

こんなに細い苗から、大きなサツマイモができることが不思議な様子でした。これから草取りなどもがんばって、土の中のサツマイモを応援します。

